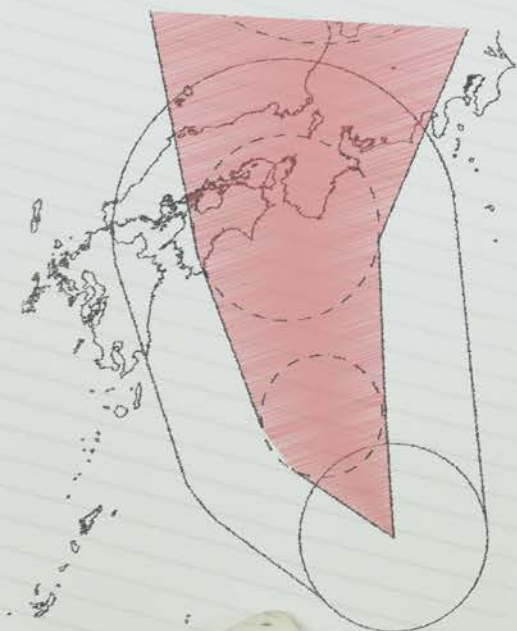


平成23年

台風12号で何が起きたのか!

～豪雨による地盤災害への対応を考えよう～



平成23年9月の台風12号によって、紀伊半島では、大規模な斜面崩壊、土石流、洪水などが多数発生し、甚大な被害を受けました。このような豪雨災害が発生する原因は複雑ですが、基本的な知識があれば避難計画といった事前対応策の検討だけでなく、豪雨が来た時の避難行動にも役立ちます。そこで、地盤工学(土木工学)や地質学の専門家による「豪雨による地盤災害を理解するための講演会」を開催いたします。皆様の参加をお待ちしています。

◇ インフォメーション

日時 2012年 **9月21日(金) 14:00～16:30**

会場 **新宮市職業訓練センター**
〒647-0013 新宮市春日1番35号

定員 **200名 (参加費:無料)**

※事前申し込みは不要ですので、当日会場までお越しください

◇ 会場までのアクセス



JR紀勢本線新宮駅下車、駅前広場から北側踏切を渡り徒歩5分

◇ プログラム

13:30～14:00	受付開始
14:00～14:05	開会挨拶 深川良一(立命館大学理工学部 教授)
14:05～14:25	平成23年台風12号による地盤災害 江種伸之(和歌山大学システム工学部 准教授)
14:25～14:55	災害を引き起こす降雨の特徴 後藤祐輔(気象協会関西支社防災事業課 課長)
14:55～15:25	紀伊半島の地質と斜面崩壊 後誠介(近畿大学附属新宮高等学校 元校長, 同中学校 元校長)
15:25～15:55	斜面が崩壊するメカニズム 鍋島康之(明石工業高等専門学校 教授)
15:55～16:25	日本の洪水災害 -その特徴と対策- 里深好文(立命館大学理工学部 教授)
16:25～16:30	閉会挨拶 深川良一(立命館大学理工学部 教授)

◇ 問い合わせ先

江種 伸之(えぐさのぶゆき)

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930 番地 和歌山大学 システム工学部 環境システム学科
TEL:073-457-8331, FAX:073-457-8330, E-mail:egusa@sys.wakayama-u.ac.jp

主催:「想定外」豪雨による地盤災害への対応を考える調査研究委員会((公社)地盤工学会関西支部,
(一社)日本応用地質学会関西支部, 関西地質調査業協会, 中部地質調査業協会合同委員会),
和歌山大学防災研究教育センター

共催:(公社)地盤工学会関西支部, (公社)地盤工学会中部支部, (一社)日本応用地質学会関西支部,
関西地質調査業協会, 中部地質調査業協会

後援:和歌山県, 三重県, 新宮市, 那智勝浦町, 紀宝町, 御浜町, 和歌山県教育委員会, 新宮市教育委員会,
東牟婁地方教育委員会連絡協議会, 新宮青年会議所, JR西日本和歌山支社, 熊野新聞, 紀南新聞,
(株)ZTV新宮放送局・東紀州放送局